

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「聞き上手」と聞くと、多くの人は、自分はあまり話さずに、相手の話をだまって聞いている人か、うかべるだろう。しかし、実際に話して楽しい聞き手は、ただだまって聞いているわけではない。たとえば、友だちが旅行の話をしているとしよう。聞き手が何も言わずにうなずくだけだと、話し手は、自分の話がつまらないのではないかと不安になる。反対に、「それで、どうなったの」と先をうながしたり、「そこがいちばん楽しかったんだね」と相手の気持ちを言葉にしたりすると、話し手は安心して話を続けられる。聞き上手とは、話を受け止めていることを、相手に伝えるのがうまい人なのだ。

聞き上手がよく使うのは、答えが一言で終わらない質問である。「楽しかった？」と聞けば、「うん」で話は終わってしまう。けれども「何がいちばん楽しかった？」と聞けば、相手は思い出しながら言葉を探す。質問の形ひとつで、相手が話せることの量が変わるのである。

もう一つ大切なのは、自分の話にすりかえないことだ。「ぼくも前に行ったよ。そのときは……」と話し始めると、話の中心は聞き手に移ってしまう。自分の経験は、相手が話し終えてから、相手の話を広げるために使えばよい。

(この問題のための書き下ろし)

問一 筆者は、第二段落で、聞き上手とはどんな人だと述べていますか。「人」につながるように、本文中から二十五字以内で抜き出さない。

話	を	受	け	止	め	て	い	る	こ	と	を	、	相	手	に	伝	え	る	の
が	う	ま	い																

問二 筆者が「何がいちばん楽しかった?」という質問をよいと考えるのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 相手が「うん」と短く答えられるので、話がすぐにまとまるから。
- イ 答えが一言で終わらず、相手が思い出しながら言葉を探すことになるから。
- ウ 聞き手が、自分の旅行の話を始めるきっかけになるから。
- エ 相手の答えが正しいかどうかを確かめられるから。

問三 「自分の話にすりかえない」とありますが、すりかえると何が起ると筆者は述べていますか。本文中から十五字以内で抜き出さない。

話	の	中	心	は	聞	き	手	に	移	っ	て	し	ま	う

問四 筆者は、聞くことを、ただの「受け身」ではなく、どんな行いだと考えていますか。本文の言葉を使って、四十五字以内で説明しなさい。

相	手	が	話	し	や	す	い	よ	う	に	言	葉	を	か	け	、	思	い	を
引	き	出	し	て	い	く	、	は	た	ら	き	か	け	る	行	い	。		

問五 本文の内容に合うものとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 聞き上手になるには、自分の意見をはっきり言うことが一番大切だ。
- イ 聞き上手とは、話す力を相手の話のために使える人である。
- ウ 聞き手は、相手の話が終わっても、自分の経験を話してはいけない。
- エ うなずくだけの聞き手が、話し手をいちばん安心させる。

イ

【中2】国語 文章問題 説明文 4 答えと解説

問一（二十点） 答え：話を受け止めていることを、相手に伝えるのがうまい

解説：第二段落の最後の一文が根拠。うなずくだけの聞き手と、言葉をかける聞き手を比べたうえで、筆者がまとめている。

問二（二十点） 答え：イ

解説：第三段落が根拠。「楽しかった？」は一言で終わるが、「何が」と聞けば相手が言葉を探す。アは「楽しかった？」のほうの説明。ウは第四段落で筆者がすすめないこと。

問三（二十点） 答え：話の中心は聞き手に移ってしまう

解説：第四段落の「話の中心は聞き手に移ってしまう」が根拠。自分の経験は、相手が話し終えてから使えばよい、と筆者は続けている。

問四（二十点） 答えの例：相手が話しやすいように言葉をかけ、思いを引き出していく、はたらきかける行い。

解説：最後の段落の「相手が話しやすいように言葉をかけ、相手の中にある思いを引き出していく、はたらきかける行いである」が根拠。

採点のポイント：① 相手が話しやすいように言葉をかける ② 相手の思いを引き出す（はたらきかける行い）（二つそろって満点、一つなら半分）

問五（二十点） 答え：イ

解説：最後の一文が根拠。ウは「相手が話し終えてから～使えばよい」と合わない。エは第二段落と逆（うなずくだけだと不安になる）。